

患者さんの数だけ情報がある。

ドクターを通じて患者さんの声を聞くことも、MRの情報活動の一環である。収集した情報から医療現場のニーズを察知し、リウマチ領域のプロフェッショナルであるエリアマネジャーの協力を得て、患者さんに応じた情報をドクターにお届けする。現場の情報こそが医薬品の適正使用を高めていく。



田辺三菱製薬

<http://www.mt-pharma.co.jp/>

「リウマチ領域を担当しますますます
情報の大切さを認識していただきます。」

山本 哲也 営業本部 製品統括部レミゲール推進部 大阪第二グループ

「先生の疑問にお答えすることが、
薬を育てることにつながります。」

横須賀 有佳里 営業本部 大阪支店 大阪中央営業所

牛尾整形外科
院長 牛尾 一康先生

撮影ご協力：牛尾整形外科
(大阪市東淀川区)

Good **Chemistry** for Tomorrow

三菱ケミカルホールディングスグループ